



「みんなでつくろう 笑顔いっぱい 永原小学校」

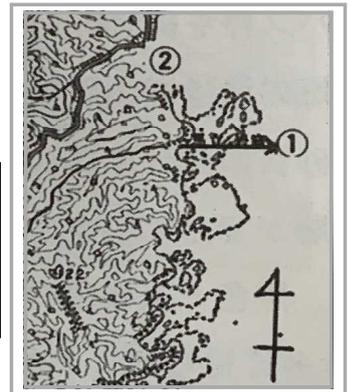
本との出会いから広がる世界

～ 宝物の地図発見！～

校長 高岡 和也

スティーブソン著の「宝島」という本をみなさんもお存知でしょう。主人公の少年が、海賊が隠した宝物の地図を見つけ、宝探しの冒険に行くお話です。わたしも小学生の時に読んで、宝探しという冒険の世界に、わくわくしたものでした。

「宝島」の本と出会って30数年後、種子島の学校に勤務した時のことです。わたしは、『宝物の地図』が載っている一冊の本と出会いました。その本は、「種子島の地質」という本です。昭和59年頃に、種子島の小・中学校に勤務されていた先生方が作られた「種子島地学同好会」の方々によって執筆されたものです。本の「はじめに」の部分には、次のように書かれています。



(略) 種子島の自然を何か一つでも知ろう、学ぼうという一般の方々、先生方、学生、生徒の方々のガイドブックとなればと、それぞれのコースを設け、地図・道路案内・写真・図表などをとり入れて、しあげたつもりです。内容や配列など、未熟なものです。種子島を歩く楽しみの一助となったり、理科教材として役立つならば、同好会一同、光栄に思います。(略)

この本の中で発見した宝探しの地図が、右の地図です。中種子地区の東海岸(太平洋側)にある<犬城・立山コース>の地質について紹介してあるページです。地図の中にある①は「馬立ての岩屋付近」、②の場所は「犬城海岸の化石」と書かれていました。①の「馬立ての岩屋」は、中種子町の観光案内にも載っている「海食洞」です。案内板や狭いながらも車の通れる道路があるので既に行ったことがあったのですが、そこで貝の化石が発見できるとは、この本を読むまで知りませんでした。さらに、②の「犬城海岸の化石」の説明には次のように書かれていました。

馬立ての岩屋より北側500m付近の海岸には、河内層が見られます。大崎層より下部に当たる層で、暗灰色のシルト岩の中に、新第三紀中新世の示準化石であるピカリヤ(2000万年から2500万年前)が含まれています。その他、オステリヤ(大型のカキ)やアナダラ(赤貝に似た貝)等も多数含まれています。(略)

併せて、「河内層」という地層の写真と、その層の中にある「ピカリヤ」という貝の化石の写真が載ってました。・・・ <スイッチ・オン!> わたしの『冒険心』にスイッチが入りました。

早速、次の休日に「宝探し」に出かけました。ところが、②の海岸は、北側を通る道路から崖の下には見えるのですが、どこから下りて行けばよいのか、道がわからないのです。馬立ての岩屋から海岸沿いを行こうとしても、崖になっていて行くことができません。あちこち道を探していると、車が草やぶの向こうに停まっているのが見えました。舗装もされていない道を進んでみると、2台車が停まっています。サーファーの人たちの車のようです。そこで車を降り、歩いて20mぐらい草やぶを進むとパッと視界が開け、海岸に出ることができました。(※わたしの頭の中では、インディージョーンズのテーマ曲が流れ始めました。)

本を手に、砂浜を南へ200mぐらい歩くと、河内層と思われる灰色の層のある崖が目の前です。灰色の層をさわってみると岩というより固まった土といった層でした。崩れているかたまりを見つけ割ってみると・・・「ピカリヤ発見!」本に載っている写真と同じ形です。さらに、南側の馬立ての岩屋の裏側あたりまで行くと、崖の中に貝の化石が入った層があり、波打ち際に落ちている石の中に、貝の化石が入った石があります。・・・「オステリヤ」や「アナダラ」の化石も発見することができました。



上左2個:ピカリヤ 上右:オステリヤ
下2個:アナダラ

♪ さあ行こう 夢にみた島へと 波をこえて 風に乗って
海へ出よう ♪ 行く手には みんなまだ知らない
♪ 不思議な昼と夜とが 待っているだろう・・・ ♪

「宝探し」を終えた帰りの車の中では、アニメ「宝島」の歌を思わず口ずさんでいました。

この本との出会いは、種子島を歩く楽しみの一助どころか、本の中に紹介されている地質現象や化石を、実際に探して回る『冒険』の楽しさを味わわせてくれました。

また、地質だけでなく歴史、生物、漂着物からみえる海洋ゴミ問題等、いろいろな方面への世界を広げてくれました。

左の写真は、種子島で見つけた、わたしの「宝物」です。他にもありますので、お気軽にお越しください。

スポーツの秋

運動会は9月に終わりましたが、スポーツの秋はまだまだ続きます。10月14日(木)に市の陸上記録会が行われました。

6年生の子供たちは、この日のために、朝や休み時間にも自主的に練習するなど、目標に向かって一生懸命取り組んできました。

本番で自分の目標に届いた子、届かなかった子いましたが、努力した事で、参加したそれぞれの子供にとって、意義のある記録会になりました。

6年生の取り組みを見習い、全校児童みんなが、主体的に体を動かし、心身ともに健康な毎日をごしてほしいと思います。



読書の秋

10月4日から10月15日にかけて、校内読書旬間が行われました。期間中は、子供たちが、より興味をもって読書活動に取り組めるように様々な活動を行いました。

活動の一つ「読書郵便」では、自分のおすすめの本を葉書に書いて、友だちに紹介しました。受け取った子供は嬉しそうに、今度は自分のおすすめの本を葉書に書いていました。紹介したり、返事を書いたりする活動を通して、たくさんの本を手にすることができたと思います。

秋の夜長、新しく知った本やお気に入りの本などを手に取って、読書の秋を楽しんでほしいです。



ありがとうございました。

始良市のシルバー人材センターの方々が、ボランティアで学校の美化作業をしてくださいました。

いつもの自分たちの清掃活動ではなかなか手がまわらない石垣の除草や、難しい、高所の木の剪定など、こちらをお願いを、快く引き受けてくださいました。

開始から2時間ほどたつと、木の影で暗かった学校の一角が、あっという間に、見通しのよい、明るい景色へと変貌していました。

きれいにしていただいた、気持ちのよい環境の中で、子供たちも楽しく学習に励むことができます。

本当にありがとうございました。



おめでとう！

県児童生徒作文コンクール

【地区特撰】題名『わたしの妹』

3年 堂森 柚那(どうもり ゆな)

【市特選】題名『ぼくはわに』

1年 押川 煌(おしかわ こう)

県図画作品展

【地区特選】題名『大好きな校舎』

5年 船津 明依(ふなつ めい)

【11月の行事予定】

- 1日(月) 「かごしまの教育」県民週間(～7日)
学校参観週間(～5日)
心の教育の日
- 3日(水) 歩こう会(家庭教育学級、校区コミュニティ)
- 4日(木) 芋ほり
- 5日(金) 市合同音楽会
- 9日(火) 青少年劇場
- 10日(水) 合同給食



- 12日(金) 合同給食
- 13日(土) 3のつく日のあいさつ運動
学習発表会
人権講話(家庭教育学級)
家庭学習強調週間(～15日)
- 17日(水) 避難訓練(地震・火災)
ふるさと学寮(～20日)
- 24日(水) 租税教室(5・6年)

学校参観週間 11月1日(月), 2日(火), 4日(木), 5日(金)

『地域が育む「かごしまの教育」県民週間』にあわせて、学校参観週間を実施します。始業から終業までの間、どの場面でも子供たちの様子を見ることができます。授業参観とはまた少し違う、普段の子供たちの様子をぜひ見に来てください。



※11月5日(金)午後は、市合同音楽会出演のため、子供たちは不在になります。